



平成19年11月19日

各位

会社名 日本工業検査株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 弘
(JASDAQ・コード 9784)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 菅野 毅
電話 044-366-6000

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月31日に公表いたしました平成20年3月中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)及び通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の連結及び個別の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	4,490	459	449	224
今回修正予想(B)	4,660	580	582	518
増減額(B-A)	170	121	133	294
増減率	3.8	26.4	29.6	131.3
前期(平成19年3月期中間)実績	4,215	363	358	182

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,713	865	845	437
今回修正予想(B)	8,938	1,019	1,011	738
増減額(B-A)	225	154	166	301
増減率	2.6	17.8	19.6	68.9
前期(平成19年3月期)実績	8,325	803	802	413

2. 平成20年3月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	4,300	415	405	215
今回修正予想(B)	4,495	525	527	506
増減額(B-A)	195	110	122	291
増減率	4.5	26.5	30.1	135.3
前期(平成19年3月期中間)実績	4,065	328	325	195

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,400	800	780	423
今回修正予想(B)	8,595	910	902	714
増減額(B-A)	195	110	122	291
増減率	2.3	13.8	15.6	68.8
前期(平成19年3月期)実績	8,017	731	731	418

3. 修正の理由

(1) 連結業績

当中間期につきましては、検査部門における既存設備に対する諸検査の需要が旺盛となったことと、石油・石油化学関連の大型の建設工事に伴う諸検査を受注したこと等により好調に推移いたしました。また、定期点検の諸検査、屋外貯蔵タンクの開放検査等も好調でありました。

計測部門は、既存及び新設の免震建物の免震装置・付帯設備の点検調査は好調でしたが、高速道路・一般道路の鋼製橋脚の補修・補強に関連した亀裂調査等が減収となったことが影響し低調に推移いたしました。

焼鈍部門は、火力発電所及び石油・石油化学関連の新設工事に伴う熱処理工事等を施工したことにより好調に推移いたしました。

利益面につきましては、検査部門及び焼鈍部門が好調に推移したことと、海外の投資有価証券の一部売却による売却益388百万円(特別利益)が発生したため前回の予想を上回る見込みであります。

通期予想につきましては、下半期は、当中間期に比べて季節要因により石油・石油化学関連の定期点検による諸検査が減少する見込みですが、当中間期の業績が好調に推移したため前回の通期予想を上回る見込みであります。

(2) 個別業績

個別業績修正の理由は、連結業績修正の理由に記載のとおりであります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上